

## 第五学年〇組 国語科学習指導案

**単元** 資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう 「固有種が教えてくれること」

### 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに挿絵や写真を手掛かりに文章を読み取ったり、伝えたいことに合う具体例を選んで文章を書いたりすることができるようになってきている。そこで、文章と図表、グラフなどの資料を結び付けて書かれている内容を理解し、文章と資料を対応させて書くことができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして資料を効果的に使い、主張に説得力をもたせる筆者の論の進め方を生かし、環境保護をテーマに自分の主張に合う資料を選び、説得力あふ文章を書くことができるようにする。このことは説明的な文章の論理を追究する子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第5学年1学期「言葉の意味が分かること」を通して、事例の示し方や文章の組み立て方に着目して要旨を捉える学習をしてきている。本単元では、これらの上に立って、文章と資料を結び付けて要旨を捉え、効果的な資料の使い方や固有種の価値を納得させた上で、固有種が住む環境を守る重要性を訴える論の進め方を自分の文章へ生かす学習をしていく。このことは、第6学年「鳥獣戯画」で、筆者の見方を伝える論の展開や効果的な語句の使い方、絵の示し方に考えをもち、伝え合う学習へと発展していく。
- 本単元の指導にあたっては、資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして文章を書くことができるようにする。単元導入では、総合的な学習の時間「〇〇川環境調査隊」の学習を想起させ、〇〇川の環境問題を地域に発信する必然性から、学習課題をつかむことができるようにする。展開段階では、資料を効果的に用いて文章を書く目的から、資料を用いた文章の効果を学んでいく。特に、本時指導にあたっては、まず、導入段階で、学習の流れ図を基に写真とグラフの効果を話し合うめあてをつかむことができるようにする。次に、展開段階では、資料を別のものに置き換えたり、削除したりしたものと筆者のものを比較し、写真やグラフを用いることの効果を明らかにできるようにする。最後に終末段階では、自分の文章に生かしたいことを話し合い、次時学習への見通しをもつことができるようにする。

### 目標

- (1) 教材文の資料から読み取れる情報と本文の叙述を基に、筆者の伝えたいことを類推したり、自分が伝えたいことと多様な資料の内容を同じ要素でまとめたりして、情報同士を関係づけて捉えることができる。【知識及び技能】
- (2) 固有種がすむ日本の環境を残す責任を訴えるために、多様な資料を効果的に用いながら、固有種が存在することの価値を述べた上で保護の現状と課題を述べた論の進め方を捉えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 自分の主張に合う図表やグラフを選び、読み手の疑問が解き明かされるように事例を並べ、主張へとつなぐ筆者の論の進め方を生かして、〇〇川の環境保護を地域の人に訴える文章を書くことができる。【思考力、判断力、表現力等】
- (4) 資料を用いて環境保護を訴える文章を書くという見通しをもって教材文を読み、資料を効果的に用いた筆者の論の進め方を生かし、地域の人に自分の考えが伝わるような文章を粘り強く書こうとする。【学びに向かう力、人間性等】

### 計画（12時間）

- 1 初発の感想を話し合い、「資料を用いた文章を読み、それを生かして書く」学習課題をつかませる。―― 1
  - 2 文章と資料を対応させて読み、資料の効果を生かした筆者の論の進め方を話し合わせる。―― 7
    - (1) 文章構成と内容について----- ② (2) 文章の要旨について ----- ②
    - (3) 中Iにおける資料の効果について----- ① (4) 中IIにおける資料の効果について----- ①本時
    - (5) 論の進め方について ----- ①
  - 3 伝えたいことに合う資料を用いて、環境保護をテーマにした文章を書いて伝え合う。―― 4
- 主眼1** 写真とグラフの効果を明確にする為に叙述と結び、固有種の絶滅と保護を示す文から、写真は人間によって絶滅した事実を突きつけ、グラフは「環境保護とのバランスが重要である」という筆者の主張を裏付けていることを捉えることができるようにする。
- 2 「もし、別の資料だったら」と資料を置き換えたり、「もし、資料がなかったら」と資料を1つ削除したりして、本論IIで写真と2つのグラフを用いる事の効果を話し合うことができるようにする。

**準備** 叙述パネル、叙述カード、付箋紙、大型テレビ、タブレット

本時の過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援				
導入	<p>1 前時の学習を振り返り、筆者の主張を伝えるための中Ⅱの資料の効果について考えることについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【中Ⅱの資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1……表と地図</li> <li>資料2……年表と地図</li> <li>資料3, 4……色の地図</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を補って内容の理解を助けたり、イメージさせたりして固有種の価値を伝えていた。</li> <li>中Ⅱは写真やグラフが使われている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中Ⅱにおいて、写真やグラフを用いることには、どのような効果があるのだろう。</p> </div>	<p>○ 筆者の主張「環境を残す大切さ」を明らかにするという本時学習のめあてをつかませるために、学習計画と前時まで捉えた資料の効果を提示する。</p>				
展開	<p>2 資料と文章を結び付けて、資料の効果を読み取る。</p> <p>(1) 資料と文章の結びつきから資料の効果話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【資料⑤の写真】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">ニホンオオカミの剥製の資料</td> <td style="width: 50%;">ニホンカワウソの写真資料</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人間の活動によって…1905年にニホンオオカミが絶滅、2012年にはニホンカワウソが絶滅」の文を分かりやすくしている。</li> <li>固有種が実際に生きていたんだ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【資料⑥⑦のグラフ】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">資料6</td> <td style="width: 50%;">資料7</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生息場所である天然林が減少するに伴って…カモシカがくじよされるようになり」の文のことだ。</li> <li>筆者は、「環境保護と固有種保護とのバランスが重要なのです」を一番言いたいと思う。</li> <li>バランスが崩れたことが分かるから、「バランスが重要」に納得する。</li> </ul> </div>	ニホンオオカミの剥製の資料	ニホンカワウソの写真資料	資料6	資料7	<p>○ 資料の効果捉えさせるために、写真と⑧段落の叙述、グラフと⑩段落の叙述を結びつきから、読み取れることや読み手に訴えてくることを話し合う活動を設定する。</p>
ニホンオオカミの剥製の資料	ニホンカワウソの写真資料					
資料6	資料7					
	<p>(2) 資料5, 6, 7を用いた文章の効果話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【もし、資料⑤がイラストだったら】</b> (置き換えて問う)</p> <p>写真</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ニホンオオカミ写真</div> <p>イラスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ニホンオオカミイラスト</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【もし、資料⑥⑦がなかったら】</b> (削除して問う)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">A 資料6</td> <td style="width: 50%;">B 資料6</td> </tr> <tr> <td>資料7</td> <td>削除</td> </tr> </table> </div> </div>	A 資料6	B 資料6	資料7	削除	<p>○ 資料の効果への理解を深めさせるために、写真をイラストに置き換えて別の資料だったらと仮定したり、2つのグラフのうち1つを削除したりして、その資料でなければならない理由を話し合う活動を設定する。</p>
A 資料6	B 資料6					
資料7	削除					
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真は、固有種が確かに生きていたリアルさが伝わる。</li> <li>もう見るができない。実際に見たかったという思いを読者にもたせることができる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>数で変化を示すことで、実際に天然林面積と捕獲数の変化がよく分かる。</li> <li>2つのグラフがあることでバランスが崩れた事実を示しているから、バランスが重要という意見に納得できる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>写真は、生きていた姿をリアルにイメージさせ、訴える効果がある。 2つのグラフは、バランスが重要だと分かるように数値で変化を示し、意見に説得力をもたせる効果がある。</p> </div>	<p>○ 本時で明らかになった学び(読み方や書き方)をまとめ、次時学習への見通しをもたせるために自分の考えにつながるキーワードを板書上で指し示す。</p>				
終末	<p>3 本時学習を振り返り、次時学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料6, 7の効果(本時) 筆者は読者に自分の考えを納得してもらうために、資料を選んで使っている。</li> <li>筆者の論の進め方をまとめる。(次時)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラフは、根拠をはっきり示せるから自分の意見文に入れるとよさそうだ。</li> <li>筆者の論の進め方をまとめて、自分が文章を書くときに使うことを決めよう。</li> </ul> </div>					

本単元の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
45	<p>1 題名読みや初発の感想の交流をし、学習課題を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【初発の感想】</b> 固有種が教えてくれること</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【資料を抜いた文章】</b> 叙述だけ、資料抜き</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【総合的な学習の時間】</b> 校区の〇〇川汚染で地域の人が困っている→環境保護を訴える文章を書いて、地域に発信する、学校のHPに載せる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>説得力ある文章を書くには、どのように資料を用いながら伝えるとよいのだろう。</p> </div>	<p>○ 資料を用いた文章の効果を生かして文章を書く学習課題をつかませるために、題名に着目させたり、資料を抜いた文章を読ませて資料の効果に問いをもたせたりした後、総合的な学習時間の「〇〇川環境調査隊」で書いた文字だけの意見文をブラッシュアップし、発信するという学習の目的を共有する時間を設定する。</p>
90	<p>2 文章と資料を対応させて読み、筆者の説明の仕方と効果を話し合う。</p> <p>○ 文章全体の構成と文章の内容を捉え、読みの視点を話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <p>①固有種の定義 特定の国や地域にしかない動植物</p> <p>②筆者の考え(主張) 固有種は生物の進化の研究に役立つ 日本には固有種が生ずる豊かな環境がある わたしは、固有種たちがすむ日本の環境をできるだけ残していきたい</p> <p>③事例一 日本の固有種の多さ</p> <p>④⑤事例二 日本に固有種が多い理由</p> <p>⑦事例三 日本列島の豊かな環境</p> <p>⑧⑨事例四 固有種保護の現状課題</p> <p>⑩筆者の考え(主張) 固有種は、生物の進化や日本列島の成り立ちの生き証人 ゆたかまで多様な自然環境が守られて いるあかしである 固有種が住む環境を残していかなければならない。それがわたしたちの責任</p> </div> <div style="width: 65%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・中は「固有種の歴史」と「固有種の環境」の2つに分けられる。 ・筆者の考えの中心は「固有種の価値」と「固有種の環境を残す責任」であり、中2つにある ・2つに分けて読もう。</p> </div> </div>	<p>○ 文章の構成と内容を捉え、読みの課題をつかませるために、文章を「初め」「中」「終わり」に分け、段落ごとに小見出しをつけた後、要点をまとめる活動と資料と文章を結びつける活動を設定する。</p>
90	<p>○ 文章の要旨を話し合い、要旨をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【文章全体の構成から】</b> 初め 日本の環境を残したい 中 生き証人、環境の証 保護のバランスが重要 終わり 日本の環境を残す責任</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【題名から】</b> 固有種が教えてくれること</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>(要旨) 固有種は生物の進化の過程を教えてくれる貴重な存在だから、日本の生育環境の保護とのバランスを考えながら、日本の自然環境を保護することが大切だと思う。</p> </div>	<p>○ 筆者の考えの中心を捉えさせるために、文章全体の構成を考えて要旨の大体をまとめさせた後、題名に着目させ、「固有種が教えてくれることは何か」を考えて150字で要旨を書く活動を設定する。</p>
45	<p>○ 中Iにおける資料の効果を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【資料①日本の固有種の多さ】</b> ・日本には…半数近くの四十八種が固有種です。一方のイギリスには…</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【資料②日本に固有種が多い理由】</b> ・このように地域と分断されることによって、固有種は生まれる…</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>【資料③④日本の豊かな自然環境】</b> ・固有種が生き続けられたのは、日本のゆたかで多様な環境を固有種が選べたから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>表と地図には、日本の固有種が多い事実を強調する効果が、絵入りの地図には、固有種が日本にいる経緯を分かりやすくする説明的効果が、色地図には日本の環境の多様性をイメージする効果がある。</p> </div>	<p>○ 資料①の文章を強調させる効果、資料②の文章を補う説明的な効果、資料③④の文章を可視化する効果を捉えさせるために、資料①を地理的条件の違うモンゴルを用いた資料に置き換えたり、資料②を削除したり、資料③④の色を抜いたりして提示し、中Iで用いられた資料があることの意味を話し合う活動を設定する。</p>

45 本時 ○ 中Ⅱにおける資料の効果を話し合う。

**【資料⑤固有種の現状】**  
人間の活動が活発になり、すでに絶滅したほ乳類も…

**【資料⑥⑦固有種保護の課題】**  
天然林が減少するのとなつて…固有種の保護は、生育環境とのバランスが重要。

- ・写真は、固有種が確かに生きていたリアルさを伝えられる。実際に見たかったという思いも。
- ・バランスが崩れていると分かる。
- ・2つのグラフがあることで環境保護とのバランスを図ることが大事なことに納得。

写真は、生きていた姿をリアルにイメージさせ、訴える効果が、2つのグラフは、バランスが重要と分かるように数値で変化を示し、意見に説得力をもたせる効果がある。

○ 資料⑤の文章の現実味をもたせて訴える効果、資料⑥⑦の筆者の考えを説得させる効果を捉えさせるために、資料⑤の写真の絵に置き換えたり、資料⑦を削除したりして提示し、中Ⅱで用いられた資料があることの意味を話し合う活動を設定する。

45 ○ 事例の順序性を話し合い、筆者の論の進め方をまとめる。

**教科書に掲載している資料**

事実(固有種の現状) 人間の活動によって固有種が減っている。  
 事実(固有種を保護するには) 固有種と生息環境保護とのバランスが重要である。  
 事実(日本に固有種が多い) 同じ条件のイギリスと比べても、日本は固有種が多い。  
 理由(固有種が多いのは) 日本列島の成り立ちに関係大陸から切りはなされた時、日本では生き残ったから。  
 理由(固有種が生き残ったのは) 日本はゆたかに多様な環境だから動物たちが自分に合う環境を選ぶことができたから。

- ・固有種のことを知らない読み手が少しずつ固有種の謎が解き明かされていくように段落を構成している。
- ・文章を補足する、文章に説得力を持たせるなど、1つ1つの資料にはそれぞれ役割があり、その効果をねらって書いている。

筆者は、中Ⅰで固有種の価値を示した上で、中Ⅱで固有種を残すには環境を守る必要があるのに、人間によって壊れていることを述べ、主張の「日本の環境を残す責任」へつないでいる。

○ 筆者の説明の仕方とその効果を捉えさせるために、これまでの学習で資料の効果についてまとめたノートを基に、筆者はなぜこの事例の順序で書いたのかを話し合う活動を設定する。

3 グラフや図表、写真などを用いて、環境保護について文章を書く。

45 ○ 教師が提示した資料から、自分の伝えたいことに合う資料を選ぶ。

**【〇〇川汚染原因】**

**【世界の海洋のプラスチックゴミ量変化】**

**【〇〇川上流と中流比較】**

	上流	中流
透視時計	54ml 水深54ml で底が見える	17ml 水深17ml で底が見える
水質調査	レベル5 きれい	レベル2 汚い

**【〇〇川上流の様子】**

**【〇〇川下流の様子】**

○ 自分の伝えたいことに合う資料を選ばせるために、教師が提示した複数の資料から自分の意見に合う資料を選んで当てはめる活動を設定する。(タブレット活用)

90 ○ グラフや表を用いて、意見文を書く。

**【文章構成】**

初め 主張  
 中 I 〇〇川の価値  
   II 〇〇川汚染の実態  
 終わり 主張

- ・筆者のように、まず〇〇川のすばらしさを伝えた上で汚れている現状を伝えたほうが環境を守りたくなるかも。
- ・主張は、初めと終わりです。

自分の伝えたいことをはっきりさせて、そこにどんな資料があれば効果的か資料の特徴を考えて選ぶと良い。

○ 説得力ある文章を書かせるために、構成メモに文章の組み立てを書いて伝えたい事を明らかにする活動を設定する。

45 ○ 書いた文章を友達と読み合い、学んだことを伝え合う。

森林が昔と比べて大きく減ったことを伝えるために、色で森林を示した地図は一目見て分かりやすく、森林を守ることに對して説得力を増す。

○ 学びを実感させるために、文章を読んだ地域の方のコメントを読む活動を設定する。

